

# 第68回 ニューロ・オンコロジイの会

当番世話人 昭和医科大学 脳神経外科 近 貴志  
代表世話人 神戸大学 未来医工学研究開発センター/  
大学院医学研究科 医療創成工学専攻 村垣 善浩

- 主 題 1)『診断、治療に難渋した脳腫瘍症例』  
2)『脳腫瘍の分子診断と新規治療薬の処方経験』  
3)『脳腫瘍研究(基礎・臨床)』

日 時 : 2026年1月31日(土) 14:00-17:45  
場 所 : 東京女子医科大学・早稲田大学連携先端生命医科学研究教育施設(TWIns) 2階  
[注意]現地開催のみで、Web配信はありません。  
住 所 : 東京都新宿区若松町2-2  
当日連絡先 : 東京女子医科大学 03-3353-8111(代表)

## プログラム

第Ⅰ部 診断、治療に難渋した脳腫瘍症例	14:00~14:40
座長 小林 裕介 先生 (昭和医科大学 脳神経外科)	
I-1. 『著明な頭蓋内進展を認めた鼻副鼻腔原発腸型腺癌の1例 A case of nasosinusoidal intestinal-type adenocarcinoma with significant intracranial extension.』	(発表6分、討論2分) 田部井 勇助 先生 (国際医療福祉大学三田病院 脳神経外科)
I-2. 『診断に苦慮した小児PitNETの一例』	(発表6分、討論2分) 児玉 琢磨 先生 (順天堂大学医学部 脳神経外科)
I-3. 『BRAF変異を有するHigh-Grade Glioma with Pleomorphic and Pseudopapillary Features(HPAP) —長期経過観察中に増悪したPLNTY類似腫瘍—』	(発表6分、討論2分) 高山 裕太郎 先生 (横浜市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学教室)
I-4. 『小児Li-Fraumeni症候群のSurveillance中に発見された、巨大前頭葉腫瘍の一例』	(発表6分、討論2分) 松谷 智郎 先生 (千葉大学大学院医学研究院 脳神経外科学)
I-5. 『Novo TTF治療前後における病理組織学的所見とその後の転帰について ～NeoBevの副次的ペネフィットはあるか？～』	(発表6分、討論2分) 勅使川原 明彦 先生 (東京慈恵会医科大学附属柏病院 脳神経外科)

共催セミナー：日本化薬株式会社  
特別講演I 14:40~15:25 座長 近 貴志 先生 (昭和医科大学 脳神経外科)  
『知ってくべきコモンディジーズ、機能性神経障害の診断と治療』  
岐阜大学大学院 医学系研究科 脳神経内科学分野 教授 下畠 享良 先生

= Break Time = 10 分

## 第Ⅱ部 脳腫瘍の分子診断と新規治療薬の処方経験

15:35～16:15

座長 近貴志先生（昭和医科大学 脳神経外科）

II-1. 『 POLE生殖細胞変異に伴うHypermutator phenotypeを呈し Pembrolizumabを使用した神経膠腫の一例 』(発表6分、討論2分)  
樋口 芙末先生（帝京大学医学部 脳神経外科）

II-2. 『 BRAF V600E変異を有するEpithelioid glioblastomaに対するタフィンラー・メキニストでの治療経験 』 (発表6分、討論2分)  
黒田 林太郎先生（自治医科大学 脳神経外科）

II-3. 『 BRAF fusionを有する難治性毛様性星細胞腫に対してMEK阻害薬治療を施行した一例 』 (発表6分、討論2分)  
清水 一秀先生（東京科学大学 脳神経外科）

II-4. 『 Von Hippel-Lindau病に合併した頭蓋内多発血管芽腫に対するHIF-2 $\alpha$ 阻害薬「ベルズチファン」の使用経験について 』 (発表6分、討論2分)  
永井 健太先生（東京医科大学病院 脳神経外科）

II-5. 『 VHL病の新しい治療選択(HIF2 $\alpha$ 阻害薬Belzutifan) 』 (発表6分、討論2分)  
高柳 俊作先生（埼玉医科大学国際医療センター 脳脊髄腫瘍科）

### 共催セミナー：日本化薬株式会社

特別講演II 16:15～17:00 座長 大野 誠先生（国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科）

### 『 プレシジョンメディシン時代の悪性脳腫瘍分子診断および治療 』

新潟大学脳研究所 基礎神経科学部門 腫瘍病態学 准教授 森田 学先生

= Break Time = 10 分

## 第Ⅲ部 脳腫瘍研究(基礎・臨床)

17:10～17:45

座長 富山 新太先生（防衛医科大学校 脳神経外科）

III-1. 『 C-CATデータを用いたびまん性中心性膠腫のH3K27M変異検出に対するLiquid Biopsyの信頼性 』 (発表6分、討論2分)  
長谷川 祐三先生（千葉県がんセンター 脳神経外科）

III-2. 『 CUSA検体を活用した術中フローサイトメトリーとMLPA解析の臨床的意義 』 (発表6分、討論2分)  
呂 聰東先生（東京女子医科大学 脳神経外科）

III-3. 『 GDF15依存性シグナルを標的としたGlioblastomaに対するNPe6-PDTの抗腫瘍効果増強の試み 』 (発表6分、討論2分)  
富山 新太先生（防衛医科大学校 脳神経外科）

III-4. 『 当院における遺伝子パネル検査 』 (発表6分、討論2分)  
北村 洋平先生（慶應義塾大学医学部 脳神経外科）

### 【お知らせ】

- 参加費として、3,000円を申し受けます。
- **右の二次元コード、または下記 URL より、事前にクレジット決済をお願いします。当日のお手続きも可能です。**  
<https://event.menergy.jp/events/01KEBMGYPRZN2TQH06F9V28Y1G>
- ご参加の先生方は、日本脳神経外科学会生涯教育研修会単位(脳腫瘍: 1単位)を取得できます。
- 本会におきましては、規則により旅費の負担ができませんことをご了承下さい。



——地図・交通案内——  
都営地下鉄大江戸線 若松河田駅下車 徒歩5分  
牛込柳町駅下車 徒歩5分  
都営地下鉄新宿線 曙橋駅下車 徒歩12分



主催：ニューヨーク・オンコロジィの会

共催(特別講演):日本化薬株式会社